

光市医師会報

昭和57年11月発行

No. 122



第4回光市医師会大運動会

光市医師会

医師会月間行事

◎学術講演会

10月6日 (水) 7・30 PM

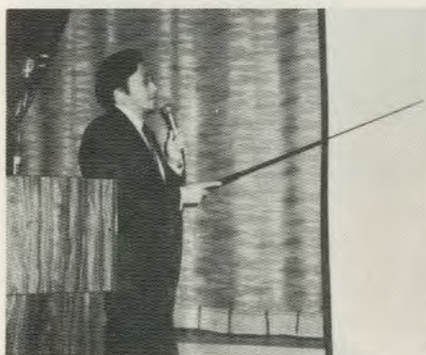
浅江虹ヶ浜 松原屋

演題 「胃癌とその問題点」

講師 財団法人防府消化器病センター

防府胃腸病院

戸田 智先生



◎定例理事会

10月12日 (火)

○報告事項

1. 産業保健担当理事協議会報告

(10月7日)

県産業医師会をつくる必要性の検討
産業医講習会を県下各地市別に開催
する。周南地区は11月 テーマは塵
肺、その他

産業医の報酬は来年も据置

2. 医師連盟拠出金

55万円 請求が日医よりあり。

20万円の不足は、事業費と足りない
部分を予備費より支出

3. 保健担当理事より個別指導の報告

9月16日 県社会保健課より出張

実施

県技官より指摘された問題点

イ. 診療録 古い病名の整理が出来て
いないものがある

ロ. 慢性疾患指導料 内容の記載をす
ること

ハ. 一部負担金の有無による院内、院
外処方を使い分け

ニ. 消化器X線検査時、食道、胃同時
に行った場合の請求方法

ホ. 胃及び十二指腸内視鏡検査

ヘ. 消化管X線検査時、緩下剤の投与
を院外処方にする点

ト. 病名の整理、カルテの記載

チ. 抗生物質又は消炎鎮痛剤の投与時
常時イサワンの併用

リ. ビタミンの内服と静注の併用

ヌ. 薬剤の使用不適當

ワンルナル、プロシド

トレンタル、タガメット、ノイ

ロトロビン、カランターゼ、ヘル

ベッサ一等

今後の医療環境や情勢の変化推移
よりみて、医師会内部に於いての自
浄作用強化の必要について発言討議
あり。

4. 2/4半期会計報告

5. 光市医師会大運動会並永年勤続者表
彰準備の経過報告

6. 周南地区労働衛生大会 10月8日
光市民ホールにおいて 会長挨拶を行
う

7. 光市老人クラブ連合会より講演会の
依頼 大野会長にお願い

- 8. 結核予防会より図書案内
購入の検討
- 9. 老人保健法案について
- 10. 麻薬研修会並に月例会の打合せ
10月25日(月)7時からとする
- 11. 医事紛争担当理事協議会の報告

◎麻薬手続等出張受付並麻薬研修会

10月25日(月) 7・00PM

光市医師会館

徳山市保健所より薬務課、岡係長と河野氏の出張受付があった。続いて岡係長より麻薬取り扱い上の注意事項等について説明があった。

イ. 液、粉末使用時に生じた誤差の取扱い

ロ. 注射液を2人に使用する場合にミスが多い。記録を正確に、1本を2名の名前を記入すること。

ハ. 帳簿は出来るだけ自分で記入すること

ニ. 隣コデは、購入時は当然であるが、倍散作製のため払出した時に記入すればよろしい。

ホ. 麻薬の保管は、たて前が、自宅ではなくて業務所になっている。従って保管は厳重にすること。

◎定例月例会

10月25日(月) 7・40PM

光市医師会館

○報告事項

1. 県医師会代議員会報告(10月21日)

イ. 山口県医師会57年度上半期事業報告

会務に関するもの	66件
学術に関するもの	26件
保険に関するもの	22件

医事法制に関するもの 20件
(医事紛争・麻薬を含む)

地域医療計画に関するもの18件

地域保険労災学校保健等に関するもの 22件

医業経営に関するもの 9件

看護学院臨床検査センター

精度管理その他

会員福祉(テニス、医謡会)2件

医政対策、医師連盟に関するもの 8件

ロ. 昭和56年度才入才出決算

2. 医事紛争対策委員会

1. 昭和57年度上半期の医事紛争発生状況

2. 問診表の改正点の説明

3. 健康保険担当理事報告

省略(定例理事会報告事項に記載済)

その他に

イ. 青色申告に関して、専従者給与については、適切な給与であればいいが、不適当な高額の場合には贈与となる由、注意されたし。

ロ. 10月1日より薬価基準の一部改正

ハ. 生活保護の要否意見書の、開始日が抜けているもの、見込月数等の落ちているもの等ありますので記入漏れのないようにして欲しい。

長期の場合は6ヶ月が限度。

◎第4回光市医師会大運動会

10月24日(日) 9・00AM

室積 山大附属小学校運動場 体育館

晴れたり曇ったりとは云うものの、秋の

一日には考えられない大変な強風の中で開会式、先ず、会長の挨拶、優勝盃返還、両軍主将に花束贈呈、準備体操、それから、次のプログラムで進行、参加者250名を越す賑やかな運動会となりました。



強風が続いて止みませんので、昼食は体育館に於いてとり、続いて、体育館の中で仮装大行進が行なわれ、多数の医院より工夫をこらした、又大変面白い出し物が続き最後に大野会長のソロダンス、そして、表紙写真の如も、全員一環となってジエンカを声たからに歌い踊って午後の部にはいりました。



対抗競技としては、光中央にある清山を境とした西軍白組の勝利となりまして、福本主将に優勝盃が渡されました。続いて、永年勤続者の表彰式を行い、午後4時解散しました。

第4回光市医師会大運動会を終わって

近藤 龍一

恒例の運動会も何とか無事に終わることが出来ました。突然の低気圧と寒波の襲来で、テントは空に舞い上がりそうになり、レコードは針と一緒に吹きとばされ、優勝カップは再三ころがり落ちるといふ大変な天気でした。それでも大勢の人の参加を頂き大いに盛り上りましたことを有難く思っております。

今回は従業員を中心に実行委員会を作り、全ての計画をすることにしました。我々の頭ではすでにアイデアが出盡してしまっていて、マンネリに陥る恐れがあること、従業員の皆さんの意見を取り入れることで、医師会員との一体感を作り出すことが目的でした。これは大変な成功で、極めて斬新なアイデアがボンボンとび出し、本当に驚いてしまいました。私は医師会の中では若手ですが、社会では相当のオジンのようで、もっと若々しい精神をもたねばならないと考えさせられました。約1カ月前から準備に入り、議論が沸騰して深夜に及ぶことも再三ありました。しかし、皆熱心に取り組んでくれ、又、段々と形が出来上ってゆくので非常に楽しい毎日でした。

当日の圧巻は何といっても「恐怖の人民裁判」でしょう。アイデアを出したのは

委員の一人で、云い出した手前的にされることになりました。私も的になる気でしたが、話を聞いている内に尻込みをしてとうとう逃げてしまいました。彼は関西の出身なので、都会風の小さい柔い豆腐を思い描いていたらしいのですが、田舎の豆腐は大きくて硬いので当てがはずれたようでした。命中するとかなり痛かったそうです。途中で栗屋さんに交代してもらった積りでしたが、皆逃げられてしまい、とうとう最後までやらされてしまいました。又、昼休みの仮装大会も皆さんよく練習をし、扮装にも手間がかかっているのに感心しました。とくに松村医院、大野先生、田村先生が自主的に参加されたことは大変嬉しいことでした。惨々の悪天候で、果して皆様の御満足が得られたか大変心配しております。唯、後で写真を見ると、皆さん非常に生々として楽しそうな顔をしておられますので、少し安心しております。

運動会の成功の為大変な努力をして頂きました実行委員の皆様、並びに心よく委員を推薦して戴きました先生方に改めて心より御礼申し上げます。又、何かと心くばりをされ、協力して下さいました諸先生方、奥様、従業員の皆様に感謝いたします。本当に有難う御座居ました。

運動会実行委員会に参加して

柚木貴晴(梅田病院)

汗と砂ぼこりにまみれた顔又顔ほんとうに、たいへんな一日だった。かなりハードな一日であったろうに、どの顔もなにかをやりとげた満足感から来たのだろう、キラ

リとしていた。一番心配していたチビッコ達は風までも友達にしてしまったのだろう。風と一つになって、とびまわっていた。

この過酷な条件の中で最後までプログラムを進めていく事が出来たのは、医療にたずさわっている者に自然に育てられた、粘りと根性の賜物であろう。そして何よりもうれしかったのは、ただでさえ忙しい毎日を送っておられる、諸先生方の活躍である。先頭に立ってプログラムの進行を進めている姿はまさしく、ナイスミドルバンザイ! そのもの。

Dr近藤率いる実行委員会のスタッフはどれをとってみても、根っからのお祭り野郎であった。「笑いと友情」と云うモットーのもとで、笑い中心のプログラムを作っていた。もうここから祭りの始まりである。どうせ人にやらせるならと楽しいアイデアが次々と出されていった。

プログラムや各プログラムに使う曲目も定めて、最後に一番の難題である各プログラムの年令別、東西別の区分が残されたがしかしこれも諸先生方の残された資料を頼りにどうにかまとめることが出来た。後はまさしく前夜祭の毎日であった。

胆っ玉かあさんのミセス近藤のサービスによるお茶やケーキに始めは「ごめいわくおかけします」「いつもすみません」を連発していたが、回を重ねるごとに、今日はチーズケーキかな、いやいやチーズケーキはこの前出たから今日はフルーツケーキだろうと楽しみにしていたのは、私一人ではなかったであろう。(ミセス近藤本当にゴチソウサマデシタ、この場をかりて実行委

員を代表してお礼を述べさせていただきます)
す)

この胆っ玉かあさんはまさにスーパーレディよろしく、主婦業、事務長職と忙しい合間をぬって、各プログラムの備品集めから製作(舞子はんの初出勤に使用したかつらはまさにパテントもんである)そして弁当屋さん、お菓子屋さんへと近藤先生を助けて大活躍だった。

実行委員会のお祭り野郎も年に1度しかないこの素晴らしい仲間達とのかかわり合いの場、Drやナースそしてパラメディカルとの交流の場をより楽しいものにしようと、ペンキ塗りや大工仕事をやっている手にも力が入っていった。

さて、当日はと云うと開会前にすでに祭りは始っていた。テントは踊る、とびまわるゴザ、舞うレコード、雨以外に風の心配があったなんて誰が思ったであろう。

まさしく大野会長の云われる所の嵐も嵐ものりこえてスタートしたのである。

ヴィレッジ・ピープルのYMCAの曲も高らかにスタートしたプログラムはまさにジャンボリーの始りにふさわしく元気な声援でこの強風をふっとばしてくれた。

昼食時にはジョイフルな仮装パーティもあり、それぞれが素晴らしいアイデアの作品を披露していただきました。

午後の部では、顔を真白にして、かつらをつけて走りまわっているDr達、毎日の業務の疲れを癒すどころではなかっただろうに。(本当にごころうさまでした)

プログラムの方も一つ一つともり上りを見せて、もうここまでくれば風が吹こうが

雨がふろうが、嵐になろうがである。そして最後の東西エールの交換に至っては完全に一つの輪が出来上がったように思ったのは私だけだろうか。

この小さな運動会を完成させる為に実に多くの人達の力をおかりした。

プログラムをスムーズに進行させてくれた薬品会社の皆さんをはじめ、レコード店にもない一曲のレコードを探して走り廻ってくれた仲間まで……

この運動会を通して多くの新しいかかわりを持ったことも忘れられない思い出となった。

最後に、このような楽しい集いの場を作って下さいました光医師会の諸先生方に心からお礼を申し上げます。又いつか、こんな機会があることを期待しつつ、それぞれの職場で頑張りたいと思います。

発行所 光市医師会
TEL 0833 72-2234

発行者 大野宗二
編集者 会報編集委員会

印刷所 光市御崎町
中村印刷株式会社